

① 衛星放送に係るインフラコストの低減

《論 点》 共同衛星・管制等によるインフラコストの低減

⇒ ソフト事業者における負担軽減、経営の選択肢の拡大

《対 応》 今年度中に方向性の取りまとめ

② 左旋空き帯域の有効活用

《論 点》 難視聴地域等における地上波代替手段としての左旋帯域の活用可能性

⇒ 難視聴地域等における共聴施設の改修等に係る負担の軽減

《対 応》 地上波代替に係る技術的検証・代替コスト試算等に係る手法の検討

③ 右旋帯域の有効利用

《論 点》 右旋帯域の有効利用（4 K放送の普及等）に資する新たな符号化方式に対応した受信環境の普及

⇒ 周波数使用の効率化等による新規割当等の推進

《対 応》 新たな符号化方式に対応した受信環境の普及等に向けた検討

④ その他

《論 点》 持続可能な衛星放送の将来像

⇒ 衛星放送の多様性や放送サービスの継続性の確保等

《対 応》 衛星放送を取り巻く環境の変化等を踏まえた衛星放送の在り方（運用面・制度面）の検討